

- 出品資格：五段以上。●用紙サイズは半切縦か角半。
- A・B課題は同時出品可能。同時出品の場合は出品券の下部にA・Bを明記すること。
- 条幅出品券を作品の右下に必ず貼付すること。(作品の裏右下には鉛筆で段位と氏名も忘れず記入)

先日、臨書の調べ事をするのに、我が師石田観雪の使っていた法帖をみた。そこには書き込みが雑多とあって、その中に草書についてのコメントが記されていた。その法帖に書かれていた内容は「草書こそが自由闊達に運筆することができ、それゆえ書の芸術性をたかめる。その境地は絵画を思わすものだ」という内容であった。我が師はその余白に「心づよい」と記していました。漢字の作品づくりに草書はどうしても必要とします。ただ、それをどう使うか、そこが日頃の書作の注意点です。あらためて検討してみたいとおもいました。

漢字部 次号課題

A 碧水忽開新鏡面

青山都是好屏風

(史蘆)

- ・碧水忽ち開く 新鏡面
- ・青山都て是れ 好屏風
- ・碧水が開けたとたん みがきあげた鏡のように静まり
- ・青山のつらなりは さながら見事な屏風に接するかのよう

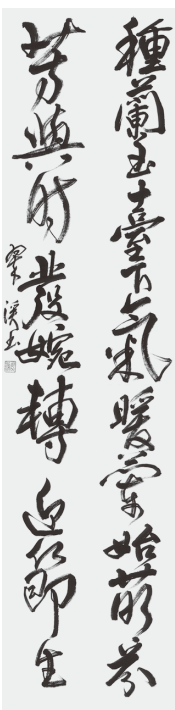
B 鶯費羲之墨

- ・鶯は費す羲之の墨
- ・王羲之の故事から 書を学ぶの意

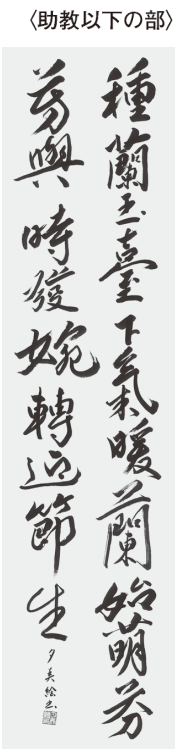
優秀作品



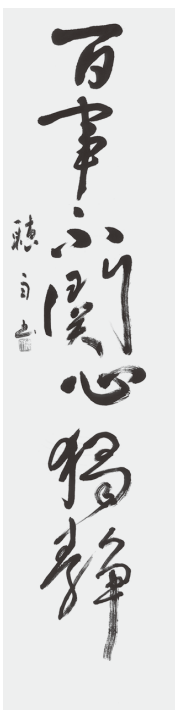
矢後幸輝 柔軟な連筆と字形で見ごたえあり素晴らしい。



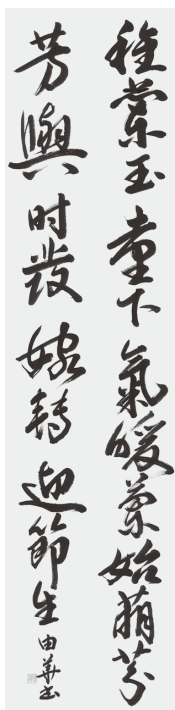
高井翠溪 連筆柔軟で勢いをおかじる。



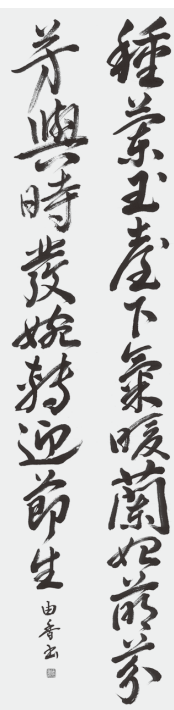
大海夕美絵 引きしまった筆線に麗しい字形。流麗な書作。



山下聴雨 悠々閑々とした作風。字形、空間が物言う。



二宮由華 丁寧な筆使い。字形も美しく、上品な仕上がり。



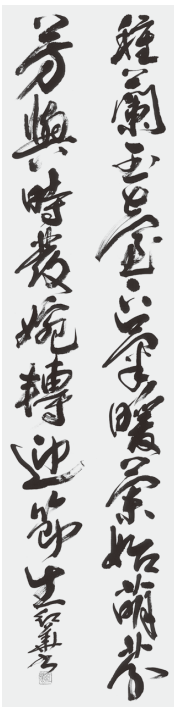
後藤由香 丁寧にひかれた線が特によい。



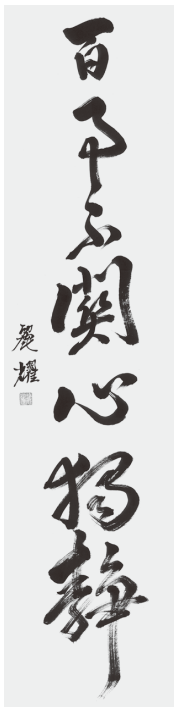
林田寛風 これ以上なにもひけない洒脱の風ある作品。



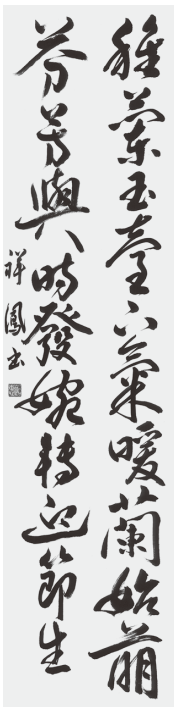
森川珠房 力まず、平常心で書かれた。落ち着きあり。



後藤紅華 連筆闊達でながれがよい。



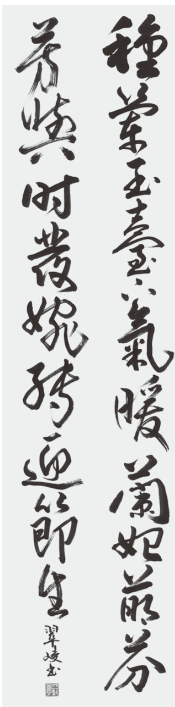
蜷川麗耀 筆線の筆圧があり力強く、全体の構成もよい。



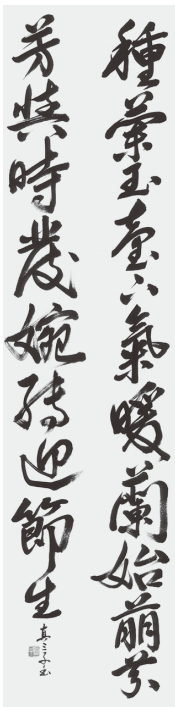
鳥羽祥風 筆勢のある字形で気品ある作。



藤原青樺 力強い連筆、勢いのある線質が上手い。



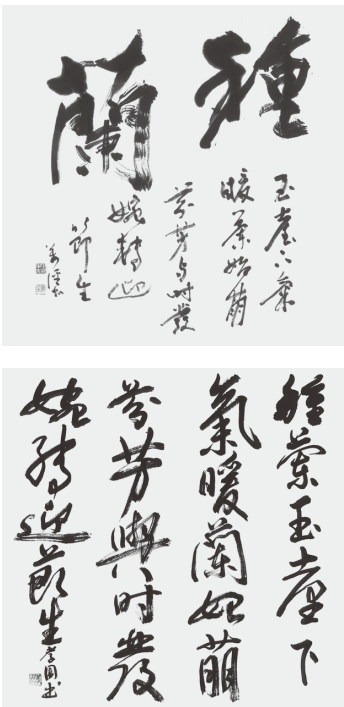
大藪翠峻 筆勢あり、かつ文字の配分にも余裕がある。



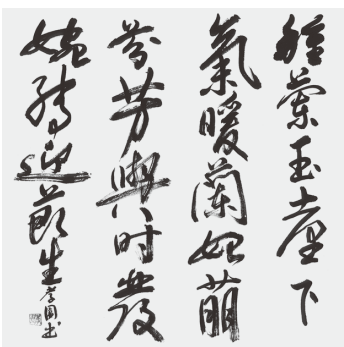
林真三子 力強さと連筆の上手さで手堅く仕上がっている。



野村恭純 気どらぬ連筆に好感が持てる。



中村萬徑 文字の大小と横線の流れが調和し見ごたえのある作品。



奥村孝園 行間、字間を考慮にいい、全体に落ち着いた作品。